

平成20年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人筑波大学

平成22年3月

平成20年度動物実験に関する自己点検・評価報告書は、文部科学省が策定した「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、基本指針という）（文部科学省告示第71号 平成18年6月1日）」及び「筑波大学動物実験取扱規程（法人規程第50号 平成17年7月21日）」に基づき、本学の動物実験に関し、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの期間における基本指針への適合性について、点検及び評価を実施し、まとめたものである。

平成22年 3月31日
筑波大学動物実験委員会委員長
八神 健一

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
筑波大学動物実験取扱規程、動物実験管理体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針に則した機関内規程が定められている。
4) 改善の方針
該当せず

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
筑波大学動物実験取扱規程、動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針
該当せず

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
筑波大学動物実験取扱規程、計画書等の様式、計画書の記入例、動物実験計画の審査要領、動物実験計画の審査について（フローチャート）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

基本指針に則して、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針 該当せず

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 筑波大学遺伝子組換え実験安全管理規程、筑波大学研究用微生物等安全管理規程、国立大学法人筑波大学放射線障害予防規程、国立大学法人筑波大学毒物及び劇物管理規程、国立大学法人筑波大学廃棄物管理規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程が定められ、実施体制が整備されている。
4) 改善の方針 該当せず

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 平成 20 年度実験動物飼養保管施設一覧表、飼養保管施設設置承認申請書、視察結果報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 学内の飼養保管施設が把握されており、施設ごとに実験動物管理者が置かれ、施設管理者による管理体制がとられている。前年度の自己点検において、小規模施設が散在し一部に管理体制の不明確な点が見られたことに対して、実験動物管理者の連絡会議を開催し、飼養保管手順書の見直しを行うとともに管理体制の強化について協議した。また、小規模施設の集約化や共同利用化について検討を開始し、医学地区で 2 箇所の飼養保管施設を廃止し、体育科学系及び遺伝子実験センターの飼養保管施設の一部改修が行われた。一方で、新たに野生鳥類の飼育を要

する研究が開始されたため、専用の野外飼育施設が新設された。
引き続き、小規模飼育施設の集約化や共同利用化を図り、管理体制の強化が必要である。

4) 改善の方針

小規模施設の集約化あるいは共同利用化について、改善計画を検討する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

動物実験に関連が深い遺伝子組換え実験安全委員会、バイオセーフティ委員会、環境安全管理室室員会議に相互に委員を置くことにより、各委員会に共通する安全管理上の問題について、情報伝達や連携を図っている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

筑波大学動物実験取扱規程、動物実験委員会委員名簿、動物実験委員会議事要旨

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画の審査、施設の視察、教育訓練の実施等において、委員会の役割を十分に果たしている。

4) 改善の方針

該当せず

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験委員会議事要旨、平成 20 年度動物実験計画書一覧、平成 20 年度動物実験結果報告書の集計結果

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画の立案、審査、承認が基本指針に則して実施されている。前年度は、結果報告の届出が新たに開始されたこともあり、結果報告書の未提出が 50 件あったが、規程の周知により未提出は 23 件に改善された。未提出の大半は退職や転出によるものである。</p> <p>また、実験計画書の作成のために、詳細な記入例を整備したり、一次審査委員が助言をすることにより、動物実験責任者の理解が進み、円滑な審査につながっている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>結果報告書が未提出の分について可能な限り報告を求める。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

（当該実験が安全に実施されているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料（安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする）</p> <p>平成 20 年度特殊実験区分（遺伝子組換え生物使用実験、感染動物実験、有害物質投与動物実験、放射性同位元素・放射線使用動物実験）ごとの動物実験計画書の一覧表、平成 20 年度飼養保管の状況（事故報告）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>安全管理を要する動物実験は、法令および本学の規則に則して安全に実施されている。なお、平成 20 年度には、実験動物による咬傷事故が 2 件発生したが、いずれも事後の適切な対応がなされた。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>実験動物による咬傷について、教育訓練の際に事例をあげて注意を促すこととする。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成 20 年度飼養保管状況（飼育動物種と匹数、実験動物の入手先、事故報告、飼養保管施設</p>

での講習会の実施)、飼養保管手順書、平成 20 年度第 2 回及び第 3 回動物実験委員会配付資料
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>前年度の自己点検において、一部の飼養保管施設の手順書では、緊急対応、飼育管理記録、健康管理に関する記述が含まれていなかったが、本委員会の指導により手順書に明記され、改善された。</p> <p>実験動物の病原微生物保有状況の検査 (微生物モニタリング) の実施状況が把握できていなかったため、マウス及びラットの飼養保管施設を対象に微生物検査の実施状況について調査を行い、さらに検査を実施していなかった施設に対して一斉検査を実施した。</p> <p>なお、帰還訓練中の鳥類 (野生由来) が放鳥後施設に戻らず、捕獲できなかったが、本件は、実験終了後に放鳥することで自治体の許可を得て実施しており、安全面及び法令上の問題は無い。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>飼養保管施設における個別講習の実施を徹底する。また、実験用げっ歯類の飼養保管施設における微生物モニタリングの実施状況を把握し、必要な対応を進める。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管手順書、飼養保管施設設置承認申請書、視察結果報告書、動物実験室一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>前年度の自己点検において、一部の飼養保管施設・設備の老朽化が進み、維持管理面で不十分な箇所が見られたことに対して、改修計画を立て実現の目途が立ったが、いまだ改修計画の検討が進んでいない施設もある。また、前年度に、動物実験室の把握が十分に行われていなかったが、平成 20 年度より動物実験室の申請をさせ、委員による視察および不備な箇所の改善指導を行った。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>老朽化した飼養保管施設の改修および設備の更新・修繕について、中長期的な計画を検討し、順次、必要な改修を進める。</p>

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
教育訓練の実施状況（全学講習会の実施記録、全学講習会資料、飼養保管施設での講習会の実施の有無）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
基本指針や実験動物飼養保管基準に則した教育訓練が実施されている。
4) 改善の方針
該当せず

7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
平成 19 年度自己点検・評価報告書、筑波大学動物実験委員会ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
平成 19 年分より基本指針に則した自己点検を行った。また、動物実験取扱規程、動物実験委員会の委員構成、動物実験の実施状況、実験動物の飼養保管状況、平成 19 年度自己点検・評価報告書等を筑波大学動物実験委員会ホームページ上で公開した。
4) 改善の方針
該当せず

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし。
